

公益社団法人石川勤労者医療協会

2015年度事業報告

I、はじめに

○2015年度のクオリティーポリシーを以下の4点としました。

- 1、日本国憲法の理念を生かし、平和と福祉を創造します。
- 2、安全、安心、信頼の医療、保健、介護、福祉サービスを提供し、その質向上をはかります。
- 3、民医連綱領に謳う使命と目標を実現する、地域医療と地域福祉の新たな担い手を育てます。
- 4、いきいきと働き続けられる職場づくりを推進します。

この方針に沿って 事業活動、経営活動、組織活動を行ってきました。

○2015年度は介護報酬の史上最大の引き下げで始まりました。介護事業所はもちろん、医療経営にも大きな打撃を与えました。

○安全保障関連法をめぐり「平和と憲法」が改めて問われました。民医連としても友の会とともに、この運動に大きな役割を果たしてきました。同時に、個々の職員や友の会会員が、自主的自覚的に様々な市民運動にかかわり、行動してゆくことが、大きく広がりました。この1年間、私たちの事業と運動を通じて、平和と福祉息づく国・社会・地域づくりに、大きく貢献しました。

○法人は中期事業・経営計画を策定し、城北新病建設の経営計画、医活計画の討議を進めました。想定していた国の補助金がなくなったことを受け、当初の計画を一部見直しました。結果的に当初の2015年12月着工は延期となり、最終的に2016年4月着工2019年12月竣工となりました。

○城北新病院の計画の変更も含め、法人中期事業・経営計画の見直しを進めました。最終的には2016年6月総会で決定する予定です。

II、2015年度の実践がどう実践されてきたか

1、法人運営の改善

①引き続き年2回総会を開催しました。総会の実参加率が33%前後になってきました。参加率を向上させることと法人会員の拡大が課題となっています。

②理事会開催を毎月第4土曜日とし、常任理事会で議論のうえで理事会に議案を提案することを徹底しました。土曜の午後の開催ということもあり、様々な行事と日程が重なることも少なくありません。開催日程については引き続き検討をしてゆきます。

2、無差別平等の医療・介護・福祉の推進

①各事業所ともその医療内容・ケア内容を向上させ、地域医療、地域福祉に貢献してきました。

② 2015年度の無料低額診療の実績は以下の通りです。

2015年度無料低額診療実績

			城北	寺井	健生刈	城北診	城北刈	城北	手取	計	輪島	上荒	小松み
			病院	病院	ニッ	療所	ニッ	歯科	の里		診療所	屋クリ	なみ診
延利用者数	外来	生活保護	3,965	497	602	8,688	677	706		15,135	287	928	425
		無料低額診療	71	753	183	811	1	139		1,958			
		計	4,036	1,250	785	9,499	678	845		17,093	287	928	425
	入院	生活保護	11,404	355					247	12,006			
		無料低額診療	313	1,926					1,311	3,550			
		計	11,717	2,281					1,558	15,556			
総計		15,753	3,531	785	9,499	678	845	1,558	32,649	287	928	425	

(単位:千円)

減免金額	外来	230	2,236	194	3,060	6	424		6,150
	入院	1,560	4,912					1,255	7,727
	総計	1,790	7,148	194	3,060	6	424	1,255	13,877

対総延患者割合(%)	13.1	8.3	4.2	8.9	10.0	5.6	11.4	10.1	1.4	3.4	3.4
------------	------	-----	-----	-----	------	-----	------	------	-----	-----	-----

手取の里は2015年6月から「無料低額老人保健施設事業」を開始しました。寺井病院の対象患者割合は、2014年度は5.8%で、2.5ポイント増加しています。友の会とともに地道な組織活動の展開や、自治体をまきこんだ制度の周知など、この間の積極的な取り組みの反映です。

②小松市栗津温泉地域の「健康生活実態調査」を行いました。「医療過疎」「貧困化」の実態が浮き彫りとなりました。小松みなみ診療所の無料低額診療の必要性が鮮明になっています。

③機能強化型訪問看護ステーションを展望した「24時間対応型訪問看護ステーションすみれ」の開設準備を進め、2016年4月1日に事業開始しました。今後、高齢者だけでなく、障がい分野、小児分野を含め、「医療的に重度の方も住み慣れた自宅で」というご本人・ご家族の願いをかなえるサービスが求められます。地域包括ケアのネットワークを支える拠点の一つです。

④城北新建設は、当初は2015年12月着工でしたが、最終的に2016年4月着工、2019年12月竣工となりました。理由は、「国の補助金がなくなったことを受けて、病床数を変更したこと」及び「施工業者を決める入札が不調に終わり、予定価格内に収めるための価格交渉に時間を要したこと」です。

⑤県連的事业としての高齢者住宅が着工されました（開設は2016年7月予定）。金沢市北部地域での地域包括ケアのネットワークを支える拠点の一つです。居室の1/3にあたる10室は部屋代を減免しています。

3、友の会と共同した、地域での公益事業の推進

① 2015年度は組織改定の初年度でした。支部を基礎とした地域での健康づくり運動が前進しました。民医連らしいヘルスプロモーション活動を推進するため、法人組織部とラパスを結合させ「健康推進部」を発足させ、友の会と一体となって健康づくりや介護予防運動を進めました。城北病院と寺井病院（14年度）、京町菜の花薬局としいの木薬局（15年度）がHPHに登録しました。またNPO法人たすけ会と連携し、地域住民の生活支援・送迎・配食にとり組んできました。「健康づくり運動」と「たすけあい活動」は石川勤医協の社会貢献事業の柱です。

② 職員の活動参加という点では「ペア職場」の取り組み、医療と介護福祉の専門家としての参加という観点で進めました。

③ 2015年度の地域ごとの会員数の動態、班会などの活動参加実績は以下の通りです。

	奥能登	はくい	金沢北	金沢南	金沢西	南加賀	(小松南)	計
会員実増	109	16	394	68	80	416	74	1,157
現勢	7613	6212	19146	5679	6561	6745	2818	54,683
世帯数	3094	3160	9481	2498	3747	3695	1288	26,963
班会地域参加累計	1579	1690	8616	2191	5082	2640		21,798
同 職員参加累計	15	127	800	38	202	187		1,369
青空健康チェック 地域参加累計	62	44	275	80	206	2		669
同 職員参加累計	4	8	50	14	13	8		97
健康チャレンジ 地域参加累計	180	331	1094	139	109	1461		3,314
同 職員参加累計	0	41	1651	89	85	101		1,967
「元気」実増部数	10	13	22	13	▲8	8		58
「元気」現勢部数	202	198	751	289	207	297		1944

4、法人中期計画の策定と見直し

① 法人中期計画を2015年3月総会で決定しましたが、「城北新病院建設の着工時期のずれ込み」「病床数の292床から300床への変更」「2億8千万円を見込んでいた国の補助金がなくなったこと」「おたっしやホーム城北とおんぼら～との法人移管時期の延期」などにより、見直しが必要になりました。2016年6月総会で見直し案を決定します。

5、医師の確保と養成

① 2016年4月に入職する初期研修医は2名がマッチングし、入職は1名でした。医学生委員会や金沢事務所を中心とした粘り強い援助の結果です。

② 2015年2月から医学生の奨学生2名誕生めざす大運動を開始し、県外の大学で1年生と3年

生 あわせて2名の新たな奨学生が誕生しました。金沢大学の3年生を含めて3名の石川民医連の医学生の奨学生となりました。医学生委員会、金沢事務所を先頭に、県連法人を挙げた大運動の成果です。

- ③ベテランの常勤医師2名（内科・整形外科、放射線科）の参加がありました。この間、城北病院を先頭に地道な努力を続け金大や医科大等との協力関係を強めてきたこと、既卒対策会議の継続的な取り組みの成果と言えます。

6、計画的な経常利益の確保

- ①社会保障費抑制を強力に推し進める国の方針の下、困難な経営活動が続きました。決算報告は第2号議案でさせていただきます。
- ②上荒屋Gビジョン会議を下半期に開催し経営改善方針をまとめました。
- ③おたっしやホーム、おんぼら～との経営改善の取り組みを開始しましたが、成果は出ていません。「働き方」と「職員体制」の見直しが不可欠です。
- ④資金結集では、有利息協力資金は 4億8840万円（目標4億円）を達成しましたが、協同基金は4397万円（同5000万円）、寄付金は2152万円（同5000万円）の到達で、目標には届きませんでした。寄付金では、法人全体の職員の協力率が3%にとどまっています。私たち自身の病院の建て替えに、資金面でも当事者として奮闘できるような、法人、管理部からの援助を強める必要があります。

2015年度の法人運営資料

①総会開催

- ・ 6月28日 総会（地場産業センター） 会員総数173名中131名参加（含委任状）
- ・ 3月27日 総会（青少年総合研修センター） 会員総数171名中130名参加（含委任状）

②理事会開催（理事25名 監事3名）

- ・ 4月 開催なし
- ・ 5月16日 第12回理事会（理事19名 監事3名） 総会議案
- ・ 6月23日 第13回理事会（理事19名 監事3名） 総会議案
- ・ 6月28日 第1回理事会（理事23名 監事3名） 役員互選（総会会場にて開催）
- ・ 7月27日 第2回理事会（理事17名 監事3名） 総会のまとめ
- ・ 8月22日 第3回理事会（理事14名 監事2名） 共同組織強化月間方針
- ・ 9月26日 第4回理事会（理事16名 監事3名） 地域包括ケア法人方針
- ・ 10月24日 第5回理事会（理事20名 監事3名） 上荒屋G経営改善、城北新病院建設
- ・ 11月13日 第6回理事会（理事13名 監事2名） 城北新病院計画の見直し（臨時開催）
- ・ 11月28日 第7回理事会（理事21名 監事3名） 城北新病院

- ・ 12月26日 第8回理事会（理事22名 監事3名） 医師確保、16年度予算編成方針
- ・ 1月23日 第9回理事会（理事18名 監事3名） 城北工事の施工業者の選定
- ・ 2月27日 第10回理事会（理事21名 監事3名） 16年度事業計画
- ・ 3月19日 第11回理事会（理事19名 監事3名） 総会議案

③会計監査人の監査

- ・ 7月29日～30日 城北クリニック 城北健診センター 城北病院
- ・ 11月16日～18日 本部 上荒屋クリニック ひだまり 本部 城北病院 城北診療所
- ・ 2月 健生クリニック 羽咋診療所 城北歯科 おたっしゃホーム城北
- ・ 3月 本部
- ・ 3月31日 本部 城北病院
- ・ 4月 本部
- ・ 5月 本部

④監事の監査

- ・ 5月27日～28日 14年度の期末監査（全事業所と本部）
- ・ 10月21日～11月4日 15年度の期中監査（全事業所と本部）

⑤石川県による「公益社団法人に対する運営組織及び業活動の状況に関する立入検査」

- ・ 3月18日実施、特段の指摘事項なし。

⑥会員の動態（敬称略）

【退会】 8名

【入会】 1名

【会員数】 171名（2016年3月末時点）

	奥能 登	能登 中部	金沢 北	金沢 南	金沢 西	南加 賀	（小 松南 部）	本部	計
地域	8	10	22	13	11	16	9	16	105
職員	5	1	21	6	6	9	1	17	66
計	13	11	43	19	17	25	10	33	171

⑦前回定時総会以降の法人会員の物故者（敬称略）

- ・ 中田昭男（浅野健康友の会副会長などを歴任されました） 10月7日逝去
- ・ 大桑 進（西健康友の会会長などを歴任されました） 4月1日逝去